



令和5年2月13日

市政記者 様

カズオ・イシグロ氏脚本映画作品 『生きる LIVING』の試写会 を開催します

長崎市の名誉市民であるカズオ・イシグロ氏が脚本を手掛けた映画作品『生きる LIVING』(3月31日(金)全国ロードショー)がアカデミー賞脚色賞にノミネートされたことを記念して、同氏をより多くの方に知ってもらうとともに、市民の同氏や長崎に対する愛着を深めるため、試写会を開催します。

- 1 対象 長崎市に在住・通勤・通学されている方
- 2 日時 3月28日(火)18時30分～
(当日の流れ)
18:00 開場
18:30 試写会開始
18:35 市長挨拶
18:50 上映開始
20:33 上映終了
- 3 場所 TOHO シネマズ長崎
(みらい長崎ココウオーク 6階)
- 4 定員 90組180名(応募者多数の場合は抽選)
- 5 参加費 無料
- 6 募集方法 ①市ホームページの入力フォーム
②あじさいコール(822-8888)
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。
- 7 募集期間 2月13日(月)～3月14日(火)
- 8 当落発表 当選者には、当選はがきを発送(3月17日(金)頃発送予定)
- 9 その他 中央公民館でも6月に本作品に係る特別講座の開催を予定



©Number 9 Films Living Limited



長崎市名誉市民

カズオ・イシグロ氏

※本試写会にカズオ・イシグロ氏は登壇しませんので、予めご了承ください。

長崎市出身の日系英国人ノーベル賞作家。昭和57年に、戦後間もない長崎市を舞台とした長編小説「遠い山なみの光」で本格的にデビュー。ブッカー賞をはじめ数々の文学賞を受賞されるなど、文学分野の振興、繁栄等に尽力し、世界的な地位を確立され、その卓絶な功績により、平成29年にノーベル文学賞を受賞。これらの功績から、2018年7月に長崎市名誉市民証書を授与された。

「生きる LIVING」の詳細は別紙のとおり

生きる LIVING

作品紹介：公開表記掲載のお願い

平素より、大変お世話になっております。

黒澤明の不朽の名作『生きる』(1952年)がノーベル賞作家の手によって第二次世界大戦後のイギリスを舞台に蘇ります。

黒澤明×カズオ・イングロ。70年の時を経てもなお、観るものすべての心に光を灯すこの映画のメッセージは、サンダンス映画祭、ヴェネチア国際映画祭、サン・セバスティアン国際映画祭、トロント国際映画祭、東京国際映画祭といった世界各地の映画祭で感動を呼び、話題となっております。

英国アカデミー映画賞(通称:BAFTA)では、英国作品賞、主演男優賞(ビル・ナイ)、脚色賞(カズオ・イングロ)をはじめ、4部門にノミネートされました。

そして、昨年末から始まった、映画賞レースのクライマックスであり、最大の祭典となる米アカデミー賞®にノーベル賞作家 カズオ・イングロ(脚色賞)、主演 ビル・ナイ(主演男優賞)が、ノミネートされました! どちらも、初のノミネートとなります。



米アカデミー賞® 2部門 ノミネート

脚色賞 Best Adapted Screenplay カズオ・イングロ

主演男優賞 Actor In A Leading Role ビル・ナイ

小説「日の名残り」、「わたしを離さないで」などで知られるノーベル賞作家カズオ・イングロは、若かりし頃に黒澤映画に衝撃を受け、映画が持つそのメッセージに影響されて生きてきたと語っています。そんな彼が脚本を手掛け、この鬱屈した時代に新しい『生きる』を誕生させました。過去にレイフ・ファインズや真田広之が出演した『上海の伯爵夫人』(2005年)を含む、2本の映画脚本を執筆。しかし、原作から脚本を製作する脚色は映画としては今回が初となります。

そして、黒澤版『生きる』(1952年)で、志村喬が演じた主人公をイギリスの名優ビル・ナイが演じました。日本では『ラブ・アクチュアリー』、『アバウト・タイム 愛おしい時間について』、『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズなどで知られるビル・ナイですが、本作での演技は公開された様々な国で称賛の声が上がっており、これまでに、第48回ロサンゼルス映画批評家協会賞 主演賞、2023 パームスプリングス国際映画祭 インターナショナル・スター賞を受賞しました。

先述のとおり、英国アカデミー賞 主演男優賞にもノミネート。また惜しくも受賞には至りませんでした。ゴールデングローブ賞でも主演男優賞にノミネートと、主要映画祭で高い評価を得ています。

カズオ・イングロと同様、初の米アカデミー賞ノミネートとなった、ビル・ナイ。73歳にして初の受賞となるか注目です。第95回アカデミー賞®は、アメリカ時間3月12日(日)に開催され、受賞者が発表されます。

ストーリー

1953年。第二次世界大戦後、いまだ復興途上のロンドン。公務員のウィリアムズ(ビル・ナイ)は、今日も同じ列車の同じ車両で通勤する。ピン・ストライプ背広に身を包み、山高帽を目深に被ったいわゆる“お堅い”英国紳士だ。役所の市民課に勤める彼は、部下に煙たがられながら事務処理に追われる毎日。家では孤独を感じ、自分の人生を空虚で無意味なものだと感じていた。

そんなある日、彼は医者から癌であることを宣告され、余命半年であることを知る—

彼は歯車でしかなかった日々を別れを告げ、自分の人生を見つめ直し始める。手遅れになる前に充実した人生を手に入れようと。仕事を放棄し、海辺のリゾートで酒を飲みバカ騒ぎを試みるが、なんだかしっくりこない。病魔は彼の身体を蝕んでいく…。ロンドンに戻った彼は、かつて彼の下で働いていたマーガレット(エイミー・ルー・ウッド)に再会する。今の彼女は社会で自分の力を試そうとバイタリティに溢れていた。そんな彼女に惹かれ、ささやかな時間を過ごすうちに、彼はまるで啓示を受けたかのように新しい一歩を踏み出すことを決意。その一歩は、やがて無関心だったまわりの人々をも変えることになる—

ご提供素材

映像素材

予告映像／特報映像

<https://toho-marketing.box.com/s/0b4as2wrbuuenr7lnrpl61ousktlm1oh>

メインカット／ポスター画像／場面写真ほか、画像素材一式

お写真1点の場合は、

- ・『生きる LIVING』メイン
- ・『生きる LIVING』ポスター の使用でお願いします。

<https://toho-marketing.box.com/s/x0wviw0l8hyqwgydfvpy8tbbsusp6h>

作品紹介いただける際は、以下の

「タイトル」「公開日(3月31日)」「マルシー」部分の表記、必ず記載ください。

公開概要

タイトル: 『生きる LIVING』
出演: ビル・ナイ／エイミー・ルー・ウッド／アレックス・シャープ／トム・バーク
原作: 黒澤明監督作品『生きる』
監督: オリヴァー・ハーマナス
脚本: カズオ・イシグロ
音楽: エミリー・レヴィネイズ・ファルーシュ
製作: Number 9 F
公開: 3月31日(金)
マルシー: ©Number 9 Films Living Limited
公式HP: ikiru-living-movie.jp

〈映画に関するお問い合わせ先〉

TOHO マーケティング九州営業所 小倉(080-1160-2897) r_ogura@toho-marketing.jp

3月31日(金)全国ロードショー!